

令和5年6月22日に教員向け俳句教育研修会を実施いたしました。今回のテーマは「つくらない句会」です。講師は江東区の俳句教育推進に長きにわたりお力添えをいただいている堀本 裕樹 様（俳句結社「蒼海」主宰）です。

堀本先生が選句した10句を参加者に事前に提示し、参加者に1句選んでもらいました。堀本先生が選句した句は以下のとおりです。



- ① 商店街少しあらめのかき氷
- ② めだかの子おまえもぼくも地球の子
- ③ 渡り鳥新たな時間連れてくる
- ④ くもがうごくうごくうごく夏の風
- ⑤ なつ休みいろんなことをする休み
- ⑥ 夕立は鏡のごとく我うつす
- ⑦ じいちゃんのでこぼこトマト待ってたよ
- ⑧ 汗拭うこのシュートだけは外せない
- ⑨ 終戦忌祖父は知らない青い空
- ⑩ ひまわりは私のしらない風を知る

※10句すべて江東区立学校の小・中学生が詠んだ句です。

句会では、まず参加者が選句した句の解釈を発表しました。同じ句を選んでもそれぞれの思いが重なる部分、異なる部分がありました。その後、堀本先生が解説してくださいました。選句した人それぞれの思いを聞きながら、想像の世界を広げて俳句を味わう時間となりました。

堀本先生から、『つくらない句会』は、その名のとおり、つくらないところから始めるため取り組みやすく、子どもたちが自由に語れるよさがあり、「俳句を『おもしろい!!』と思うきっかけになれば」とお話いただきました。「こどもの俳句がいかに純粋であるか」「先生たちがこどもの俳句のよさをしっかりと見つけてほしい」というメッセージをいただきました。きっと参加した先生方も俳句の魅力に触れることができたのではないのでしょうか。本研修会開催にあたり、深川芭蕉小中学生俳句大会実行委員長 内野 様にもご協力いただきありがとうございました。

「つくらない句会」ぜひ各学校で取り組んでみてください。